



海と共々

発行

宮城県漁業協同組合 〒986-0032 石巻市開成1番27 TEL0225(21)5711 FAX0225(21)5640



● 閑上漁港

主な内容

- 共販情報
- 主な一般経過
- 第15回経営管理委員会開催
- 第1回経営管理委員会開催
- 第2回経営管理委員会開催
- 2008年春の勲章受章者が発表
- 霧海難防止・規則改正のお知らせ

共 販 情 報

乾海苔共販については、4月25日で本年漁期の入札会を終了しました。共販はシーズン当初水温が高めに推移したため、採苗や育苗への影響が懸念されましたが、10月中旬より水温が例年並みに低下すると共に良好な生育状況となり、12月末までの共販数量は2億4千万枚と順調な実績となりました。しかし、年明け後は雨、風が少なく、漁場への河川水の流入量が例年に比べて減少したことと、適度な時化も無く栄養塩が不足し、更に最盛期の年末から2月にかけて、一部を除いて殆どの養殖海域であかぐされ病が発生したことなどにより、生育、色調共に思わしくない状況が終盤まで続き、最終の共販数量は前年漁期の4月期を含め6億2千万枚となり、前年度実績を大きく下回りました。又、価格については、漁期を通し本県生産量の中心（業務用）である中間品の価格が伸びなかったこともあり、前年を下回る価格で推移したため、共販金額も44億2千万円と前年を下回る結果となりました。



乾海苔最終入札会

鮮かき共販については、本年漁期前N V（ノロウイルス）検査において県内11ヶ所で陽性反応が出たため、初入札会を1週間遅らせて開催いたしました。この英断について量販店等流通業界より高い評価を頂きましたが、高気温の影響による消費の伸び悩みにより需要が伸びず10月末現在、数量で前年比約71%、価格は前年比69%と低迷いたしました。この状況を打開するため、今年度新たな消費層獲得を目指しハウス食品と協力して、カキを利用したシチュー

、チャウダー等の洋食料理の提案を量販店等に行うと共に、生産者と職員によるカキ販促キャラバン等を実施し、量販店の各店舗へ直接働きかけを行いました。11月に入り需要が徐々に回復して、12月末現在で数量は減産であった昨年並に回復いたしました。又、1、2月にN V（ノロウイルス）検査において陽性となる頻度が少なく、更に麻痺性貝毒も発生しなかったことや、ハウス食品によるカキシチューCMが1月から本格的に展開されたこともあり、量販店向けに生食用での供給が続き、安定した共販となりました。特に価格は1月に月の半数は1,200円/kgを超える価格で取引され、2月に入り初旬は1,000/kgを下回る価格で推移しましたが、10日過ぎより価格が上昇し一時は、2,000円/kgを超える価格での取引にもなりました。このため、今年度、鮮かき漁期での月平均価格で1月が最高という結果となり、最終的には前年漁期の4、5月を含め数量で4,737t、金額は50億円の取扱となりました。

ホタテ貝共販については、新貝の出荷は生育不良や斃死等により生産量が伸びず、4～6月の3ヶ月で前年対比87%の実績となりました。半成貝の出荷でも生育遅れにより小さいサイズが中心の生産となり、最終の生産量は平成8年以来の1万t台となり、前年対比で81.5%の実績となりました。生育不良や斃死の要因としては、一昨年10月6、7日に襲来した大型低気圧により、養殖施設が被害を受け、更に貝が揺られたりぶつかりあったことにより、貝に障害等の影響が大きかったと考えられます。価格は、本年の生産量が減産となったにもかかわらず、他の主要県が順調な生産となり前年より1万t以上の増産となったことや、歩留まり不足、小サイズでの生産が中心であったため前年を若干下回り、4年ぶりに280円/kgを下回る273円/kgでの取引となりました。取扱金額は、生産量の減産、平均価格安により29億円の実績で終了いたしました。

あわび共販については、国内生あわび需要の低迷、香港が消費の中心である干鮑需要の減少が大きな要因となり、買受人の段階で慢性的な在庫過剰が続き、6・7月期は前年同期を15%以上下回る価格での取引となりました。その

後も厳しい消費動向が続き、共販数量の90%を水揚げする冬場の共販前の10月段階での在庫は例年の2倍を超える数量を抱える状況となり、11月期は平均価格が昨年を大きく下回り、6,895円/10kgでの取引となりました。又、高水温の影響により放卵が進まず磯根資源部会委員と買受人の話し合いにより共販期間を変更し実施いたしました。12月期は11月期の水揚げ

数量が前年の倍以上となったことも要因となり、11月期より更に価格は下がり、平均価格5,709円/10kgでの取引となりました。最終共販内容は、数量が前年比15%の減産の160t、平均単価は年間を通し前年を下回り6,441円/10kgとなり、金額は9億9千8百万円の実績となりました。

平成19年度 共販品目別実績表

平成20年3月末現在（但し、乾のり・かきは4月末現在）

項 目 品目名	数 量			金 額			平均単価		
	平成18年度	平成19年度	前年比	平成18年度	平成19年度	前年比	H18	H19	前年比
乾のり	722,398,700	621,172,300	86 %	5,063,018,425	4,369,073,029	86 %	701	703	100 %
鮮かき	3,519,407	4,266,193	121 %	4,613,036,216	4,824,606,686	105 %	13,107	11,309	86 %
ホタテガイ	13,032,376	10,621,152	81 %	3,651,175,527	2,903,913,371	80 %	280	273	98 %

*単価【乾のり：円/100枚】【鮮かき：円/10kg】【ホタテガイ：円/kg】

【わかめ共販：記録的な浜値で終漁】

平成20年漁期のわかめ共販は、5月8日の臨時入札会で終了しました。今年の三陸産若布は中国産食材への不信感や鳴門で発覚した産地偽装問題等の影響で、三陸産若布の需要が急速に高まり、前半は西日本の業者による注文買いが活発化し、その後は地元業者の買付け意欲が過熱したことにより、入札ごとに最高値を更新して、生産者にとっては想定外の記録的な「特需」となりました。今漁期の若布生産は、10・11月の種苗の巻付け時には、温暖化による高水温に加え、雨雪が少なく栄養塩不足と適度の時化が無かったこと等により種苗の芽落ちが見られ、岩手・宮城とも10日程度の生育遅れとなり減産が予想されましたが、1月31日の初入札会は、干し1.2t・塩蔵32tと例年になく少ない上場数量となり、これが品薄感に拍車をかけ、入札毎に過熱した争奪戦を展開し、4月23日の第10回入札会では塩蔵若布の上物で18,692円/10kgを記録しました。上級品はも

とより、特に元葉・切葉などを含めたスソ物の価格は、例年の3倍となり、安全・安心な三陸産ブランドへの需要が高まることとなりました。今年度、若布漁期での取扱数量は、4、5月を含め干し34t・塩蔵2,910t・生1,090tとなり若干の減産であったものの、塩蔵若布の平均価格が10,366円、取扱金額で30億5200万円となり、平均価格及び売上高ともに大幅な記録更新となりました。



若布浜作業（南三陸町：石浜漁港）

生産年別若布取扱実績表（最近5年間）

単位（数量：t、金額：千円、平均単価：円）

年	干 若 布			塩 蔵 若 布			生 若 布			総共販金額
	数 量	金 額	平均単価	数 量	金 額	平均単価	数 量	金 額	平均単価	
16	51	69,752	13,591	3,189	1,682,515	5,276	1,606	129,674	807	1,881,941
17	70	93,196	13,295	3,171	1,512,912	4,772	1,697	138,921	819	1,745,029
18	47	41,931	8,819	2,752	1,130,206	4,107	1,864	129,679	696	1,302,432
19	44	55,321	12,407	2,425	1,250,432	5,155	1,483	109,007	735	1,413,494
20	34	46,760	13,798	2,910	2,920,658	10,366	1,090	84,613	776	3,052,031

主な一般経過

- 3 / 12 第 5 回わかめ入札会
第 1 回ランプ網漁業委員会
第 1 回いかつり漁業委員会
- 14 第 1 6 回乾のり入札会 (B-7)
辞令交付式
- 17 第 9 回支所長並びに第 2 回経理担当者
合同会議
- 18 漁業経営セミナー及び個別経営相談会
- 19 第 1 3 回理事会
- 21 第 6 回わかめ入札会
第 9 回総合支所合同 (塩釜・石巻) の
り部会
- 24 第 1 7 回乾のり入札会 (A-7)
- 26 第 1 5 回経営管理委員会
- 27 燃油高騰緊急対策事業説明会
- 28 第 1 回遊漁船部会
- 29 第 7 回わかめ入札会
- 31 第 1 8 回乾のり入札会 (B-8)
- 4 / 1 新規採用者の辞令交付式並びに業務説明会
- 3 経営管理委員打合せ
省エネ機器導入補助事業に係る打合せ
- 7 第 8 回わかめ入札会
総合支所(気仙沼・石巻)合同わかめ部会
- 9 第 1 9 回乾のり入札会 (A-8)
- 10 資産自己査定システム担当者研修会
ハンディ端末集荷業務担当者説明会
- 11 「伊達のぎん」イオン向け生産者会議
- 12 仙台湾小型漁船漁業部会 底引き網・
固定式さし網・せん漁業合同委員会
- 15 第 9 回わかめ入札会
- 16 省エネ機器導入補助事業に係る説明会
- 17 第 2 0 回乾のり入札会
- 23 第 1 回理事会
第 1 0 回わかめ入札会
- 25 第 2 1 回乾のり最終入札会 (合同)
銀ざけ生産者会議
- 28 塩釜総合支所 磯根資源部会
- 30 第 1 回経営管理委員会
第 1 1 回わかめ入札会
- 5 / 8 新規採用者の辞令交付式並びに業務説明
第 1 回監事会
第 2 回理事会
- 12 第 2 回経営管理委員会

第15回経営管理委員会開催

宮城県漁協は 3 月 2 6 日、本所に於いて平成 1 9 年度第 1 5 回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の 4 件が報告されました。

1. 一般経過報告
2. 宮城県常例検査結果報告
3. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
4. 融資状況

続いて議事に移り、次の 3 議案が提案説明されました。

第 1 号議案

出資口数の減少に関する件

第 2 号議案

融資決定に関する件

第 3 号議案

1 0 0 万円以上のリースに関する件

第 1 号議案は、定款に基づき、出資口数を減少することに伴い、減資することの承認を求めました。第 2 号議案は、定款に基づき、貸出案件調書 (大口貸出先：3 億円以上) のとおり貸付することの承認を求めました。第 3 号議案は、経営管理委員会運営規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第 1 回経営管理委員会開催

宮城県漁協は 4 月 3 0 日、本所に於いて平成 2 0 年度第 1 回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の 9 件が報告されました。

1. 一般経過報告
2. 平成 1 9 年度第 2 回内部監査結果報告
3. 平成 1 9 年度減損損失測定結果
4. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
5. 資金の他部門運用
6. 融資状況
7. コンプライアンス推進委員会設置要領の制定
8. 女川魚市場 (旧宮城県漁連) 不祥事件
9. 平成 2 0 年度漁業経営構造改善事業

続いて議事に移り、次の 5 議案が提案説明されました。

第 1 号議案

平成 20 年度役員報酬（理事）に関する件
第 2 号議案

宮城県常例検査結果に対する回答に関する件

第 3 号議案

宮城県に対する旧宮城県信漁連の不祥事に対する対応方策の進捗状況報告に関する件

第 4 号議案

文書規程一部変更に関する件

第 5 号議案

資産自己査定実施要領一部変更に関する件

第 1 号議案は、平成 20 年度役員報酬（理事）の年額報酬の計画（案）の承認を求めました。第 2 号議案は、経営管理委員会運営規程に基づき、宮城県常例検査結果に対する回答書を提出することの承認を求めました。第 3 号議案は、宮城県に対する進捗状況を報告することの承認を求めました。第 4 号議案は、塩釜総合支所信用店舗の開設に伴い、文書規程の一部を変更することの承認を求めました。第 5 号議案は、平成 19 年 6 月 8 日付け系統金融検査マニュアルの改定及び他法令の改定に伴い、資産自己査定実施要領の一部を変更することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第 2 回経営管理委員会開催

宮城県漁協は 5 月 12 日、本所に於いて平成 20 年度第 2 回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の 1 件が報告されました。

1. 平成 19 年度第 3 回監事監査結果報告

続いて議事に移り、次の 2 議案が提案説明されました。

第 1 号議案

平成 19 年度決算報告に関する件

第 2 号議案

総代選挙の実施に関する件

第 1 号議案は、平成 19 年度事業計画実績進捗表となることの承認を求めました。第 2 号議案は、総代選挙を実施することの承認を求めるとともに選挙管理者 1 名の選任を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

2008年春の勲章受章者が発表

春の勲章受章者が 4 月 29 日付けで発表されました。

伝達式は 5 月 9 日（金）午前 11 時 10 分から、東京・霞が関の農林水産省 7 階講堂で行われ、受章者は午後 2 時から皇居で天皇陛下に拝謁いたしました。本県水産関係の受章者は、次のとおりです。

〈旭日単光章〉

我妻 親二（79 歳） 元東宮浜漁協組合長

**漁船海難遺児育英会
〔募金・寄付金〕のお礼**

この度、募金・寄附金を賜り誠に有り難うございました。

皆様方から寄せられました募金・寄附金は、育英事業のために活用させていただきます。

ご寄附を頂きました方々のご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

ご芳名（敬称略）

○株式会社仙台水産（仙台市）
代表取締役会長 島貫 文好

○阿部 美保子（石巻市）



霧 海 難 防 止

5 月 3 日、鮎川沖において、霧の中、旅客船同士が衝突（14 名軽症）するという海難事故が発生しました。

霧多発時期を迎え、視界不良時における衝突海難等が懸念されることから次の事項等を厳守して事故を未然に防ぎましょう。

【霧による海難を防止するための基本的注意事項】

- 1 見張りを強化する
- 2 安全な速度で航行する
- 3 早めに避航する
- 4 船位確認を励行する
- 5 霧中信号を励行し、自動操舵装置を適正に使用する

規 則 改 正 の お 知 ら せ

（平成20年度 4 月 1 日 施行）

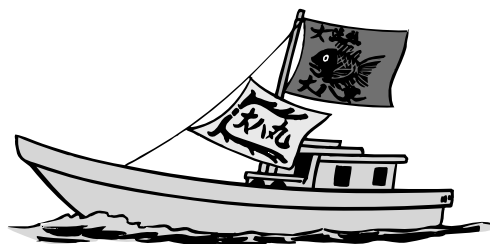
【ライフジャケット着用義務化】

航行中の漁船に 1 人で乗船して漁ろうに従事する場合、ライフジャケットの着用が義務となりました。

違反の場合、6 ヶ月以下の免許停止等の処分の対象となります。

【密漁（無許可操業違反）事犯の罰則強化】

宮城県漁業調整規則第 7 条（あわび漁業、潜水器漁業等の許可）に違反した場合、3 年以下の懲役又は 200 万円以下の罰金が科せられます。



がんばる水産業関係者を応援します。

水産業関係者の経営(金融)相談

に対応いたします。お気軽にお電話ください。



この度、宮城県内の水産業団体が協力して、水産業関係者の経営(金融)問題で困っている方々の相談に無料で対応するため、『水産業経営相談室』を開設いたしました。

水産業等の経営に関するご相談がありましたら、お気軽にご利用下さい。経営相談員が丁寧に対応いたします。

(専門の税理士・中小企業診断士等を利用した支援をおこなう場合は、有料となります。)



対象者：中小漁船漁業者／沿岸・養殖漁業者／水産加工業者

◆たとえば、このような問題に対応します◆

- 漁家経営についてわかりやすく教えてほしい。
- 資金の融資を受けたいが、相談にのってほしい。
- 有利な融資制度や融資機関を紹介してほしい。
- 現在の経営内容を評価(診断)してほしい。
- 経営の改善(再建)策を相談したい。
- 簿記記帳を始めたいが、具体的な方法を教えてほしい。
- 個人事業を株式会社等の法人経営にしたい。
- 生産物(製品)の販売方法について相談したい。等



▼相談内容については、秘密厳守されます。

※ 定期的に県内を回りながら、個人相談に対応できる「出前相談」も計画しております。

(お近くの加入組合・漁協・支所にお問い合わせください。)

■水産業経営相談室 [宮城県漁業信用基金協会内]

【開設日】・・・毎週 火・木曜日

〒980-0014 宮城県仙台市本町三丁目6番16号

(電 話) 022-221-5326

(FAX) 022-262-7567

〔経営相談員：藤 島 武 雄〕

相談は無料です。お待ちしております。



位置図



漁業者を対象としたパソコン簿記講習のご案内 ～経営管理能力の向上をめざしましょう！～

県では、漁業者を対象にパソコン簿記講習を開催します。
詳しくは、本所指導部または最寄の県地方振興事務所水産漁港部までご連絡下さい。

青色申告には様々なメリットがあります！

白色申告では得られない以下のような多くの特典があります。

- 青色申告特別控除65万円
総収入のうち最高65万円が控除となります。これだけでも年間の税額は概ね5～6万円の得となります。
- 青色専従者給与
家族への給与を全額経費にできる。白色申告では50万円(配偶者の場合は86万円まで)です。
- 徹底した経営管理
自らが記帳することで、経営管理能力が向上します。
経営者が自らの経営と暮らしの設計図・将来目標を持ち、毎日、毎月の経営管理を積み重ねながら、その目標を実現していくための手段が複式簿記なのです。
- 各種施策の対象資格が得られる
漁業共済を活用した漁業経営安定対策事業等の各種施策の対象資格が得られます。

研修の内容

- 講師：民間のパソコンスクール講師
- 実施時期：受講者の希望時期と講師の日程を調整して行います。
- 講習会時間：パソコン簿記講習会は、全12時間を要するので、1回3時間であれば4日、1回2時間であれば6日間を要します。
- 講習会定員：10名程度(15名位までが最大)
- その他：できればご夫婦でご参加下さい。

○ 受講に必要な物

- ① パソコン(持ち運びできるものが望ましい)
- ② パソコン簿記用ソフト及びテキスト料(13,000円程度)
- ③ 講習に必要な会場は、受講者側で準備する。(漁協や公民館など)
(本所会議室も利用できます)

標識タグが装着されたマコガレイの 漁獲報告をお願いします。

宮城県漁業協同組合では、産卵後親魚(ガツパ魚)に標識タグ(黄色)を装着し仙台湾へ放流しております。

資源管理はもとより付加価値を高めた漁獲システムを構築することを目的として、12月20日から実践しており、放流時との魚体重・価格を比較検証をするためには再捕時の報告が必要となっております。

標識魚を再捕された方は市場等で販売後、下記連絡先まで必要事項をお知らせください。

※実際に使用しているものです。

No. 0250 JF 三ヶ子 Tel. 022-264-6830 No. 0250



報告して頂きたいこと

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1 再捕した年月日 | 5 標識タグの番号 <small>No. 0250</small> |
| 2 再捕した場所と水深 | 6 販売単価 |
| 3 漁法(例 刺網、底びき網、定置網、釣り等) | 7 再捕した方の氏名・連絡先 |
| 4 魚体重 | |

連絡先

宮城県漁業協同組合 本所指導課 TEL 0225-21-5740
宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所 TEL 022-349-6222
または上記以外のお近くの漁協各支所までご連絡ください。